

第 2 回 新 市 建 設 計 画 策 定 小 委 員 会
タ ウ ン ウ ォ ッ チ ン グ 巡 回 ポ イ ン ト 等 説 明 表

目 次

掛川市

- 1 頁 掛川市役所、浄化センター、衛生センター、掛川駅
- 2 頁 乳幼児センターすこやか、日坂宿、日坂バイパス道の駅
- 3 頁 新清掃センター、22世紀の丘公園、新エコポリス、エコポリス、ならここの里、ならここ温泉
- 4 頁 第2東名高速道路、天の橋原公園、加茂花菖蒲園、いこいの広場
- 5 頁 県総合教育センターあすなろ、掛川市消防署西分署、こどもの森、大池公園総合体育館、生涯学習センター
- 6 頁 徳育保健センター、三師会館、掛川市消防署、掛川城天守閣、掛川城御殿、中央図書館、大日本報徳社
- 7 頁 二の丸美術館、二の丸茶室
- 8 頁 東名掛川IC、掛川市立総合病院、掛川高瀬線、花鳥園
- 9 頁 県道磐田掛川線

大東町

- 10 頁 県道掛川大東線、農業（茶）、東京女子医科大学、吉岡彌生記念館、上土方工業団地、高天神城跡
- 11 頁 特別養護老人ホーム「大東苑」、大東文化会館シオーネ、大東町役場
- 12 頁 農業（水稻）、農業（施設園芸、露地栽培）、特別養護老人ホーム「第2大東苑」、大東温泉シートピア
- 13 頁 風力発電、潮騒橋、終末処理場、環境保全センター、一般廃棄物最終処分場

大須賀町

- 14 頁 サンサンファーム、特別養護老人ホームおおすか苑、福祉ゾーン
- 15 頁 コーニングジャパン(株)、農村環境改善センターアイク、農村地域工業導入地区大渕沖之須団地、勤労者体育センター、B & G 海洋センター
- 16 頁 大須賀浄化センター、弁財天海浜公園アスレチックコース、ロックタウンおおすか、横須賀城跡
- 17 頁 清水邸庭園、三熊野神社と街並み
- 18 頁 大須賀町役場、釜ヶ谷土地地区画整理事業「洋望台」、県道大須賀掛川停車場線、大須賀中学校、西大谷ダム公園
- 19 頁 県道袋井小笠線

掛川市

施設名	説明
①掛川市役所	<ul style="list-style-type: none"> ・平成8年竣工 ・敷地面積 38,000㎡ (総本山全体面積 80,000㎡) ・建築面積 4,768㎡ 延床面積 16,136㎡ ・地下1階 地上6階 ・事業費 61億3,540万円 ・市庁舎と生物循環パビリオンと水質保全パビリオンの3点セットで万緑化の生涯学習総本山パークを形成 ・市民に開かれた庁舎をめざして、市民と職員、市民と市民、職員と職員の3種類のミーティングが同時に行える生涯学習テラス及びゆとりと一体感をつくりだすアトリウム(吹き抜け)を設置 ・一目瞭然ガラス張り、どこからでも見える階段状吹き抜け ・貝殻のような半円形のランドマークは議場(民主形態を表す円形議場を採用)の屋根で「市民と行政が手を合わせた市政」を表現している ・新幹線を通る年間1億人に、掛川のランドマークとして「あれは何だ?効果」を発揮している ・平成12年公共建築賞受賞(中部地区)
①浄化センター (水質保全パビリオン)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成13年3月供用開始 ・供用開始区域 約167ha (平成15年5月末現在) ・接続率66.8% (") ・接続件数1,174件 (") ・敷地面積 27,000㎡ (用地費 26億1,900万円) ・全体計画区域(1,962ha) ・第1期整備地区(99ha) 事業期間H6～H12 事業費101億円(うち浄化センター分30億円) ・第2期整備地区(150ha) 事業期間H12～H17 事業費 81億円(うち浄化センター分28億円)
①衛生センター (生物循環パビリオン)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成6年4月に改築されたし尿処理場 ・建築面積 1,513㎡ 延床面積 2,980㎡ ・事業費 28億5,800万円(うち学習施設分7,700万円) ・処理能力 109kl/日 ・単にし尿を処理するだけの施設ではなく、この世の中は、植物が生産者、動物・人間が消費者、微生物が消費する際に出る廃棄物(し尿)の分解者、そして水と土に返り、再び植物が生まれるという生物循環(エコサイクル)の学習展示施設を2階に設置
○掛川駅	<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線掛川駅は、周辺24市町村からの17億円と市民、企業、団体が5年間で集めた30億円の市民募金を柱に、総工費137億円で昭和63年3月に設置された ・北口は東海道で唯一残る木造駅舎 ・街路樹33種100本が植えられている駅前広場は緑化日本一、高さ10mにもなる大ケヤキが南北口に3本ずつ植えられている

施設名	説明																			
	<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線駅で唯一の第3セクター鉄道(天竜浜名湖鉄道)の分岐 ・駅一周1,087㎡に芸術性あるぐるり散策コースを設定 																			
②乳幼児センターすこやか	<ul style="list-style-type: none"> ・平成15年4月開園 ・幼保一元化の方向性の中で乳幼児教育の質的な向上を図るため幼稚園2園と保育園1園を再編整備 ・園児定員 幼稚園部140人／保育園部120人 ・敷地面積 6,793㎡ 建築面積 2,593㎡ ・総事業費 14億5,400万円 ・教育目標 「笑顔 やる気 思いやり」 ・生涯学習人生の最初の段階である乳幼児期の保育のあり方や、子育て期の親のあり方をみんなで学び、互いに育ち合う地域の乳幼児教育・育児のセンターをめざす 																			
③日坂宿(川坂屋)	<ul style="list-style-type: none"> ・日坂は東海道五十三次品川宿から数えて二十五番目の宿 ・川坂屋は日坂宿で江戸時代の面影を遺す数少ない建物の一つで精巧な木組みと細かな格子が特徴 ・宿で一番西にあった旅籠屋で身分の高い武士などが宿泊した ・平成12年4月修復事業完了 																			
○(仮称)日坂バイパス道の駅	<ul style="list-style-type: none"> ・平成17年供用開始予定 ・道の駅本体 面積50,00㎡ <ul style="list-style-type: none"> ①物産販売施設用地 4,910㎡ (農産物販売・加工施設等・一般駐車場) ②沿道サービス拠点用地等 45,090㎡ (駐車場・案内施設・トイレ) ・下り線ランプ計画 10,000㎡ ・平成15年度 農産物販売・加工施設建築設計 ・地元農産物販売・加工組合を設立して施設にて販売を行い、地域おこしに役立てる予定、現在は組合設立のための研究会にて調査研究中 <p>今後の事業推進スケジュール(案)</p> <table border="1" data-bbox="627 1570 1394 1995"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>道の駅本体</th> <th>下り線ランプ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>用地取得</td> <td>H14年3月～H15年3月</td> <td>H15年下期</td> </tr> <tr> <td>造成工事</td> <td>H14年上期～H15年下期</td> <td>H16年上期～</td> </tr> <tr> <td>建物等工事</td> <td>H16年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外構工事</td> <td>H16年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>開業予定</td> <td>H17年春見込み</td> <td>H17年春見込み</td> </tr> </tbody> </table>		区分	道の駅本体	下り線ランプ	用地取得	H14年3月～H15年3月	H15年下期	造成工事	H14年上期～H15年下期	H16年上期～	建物等工事	H16年		外構工事	H16年		開業予定	H17年春見込み	H17年春見込み
区分	道の駅本体	下り線ランプ																		
用地取得	H14年3月～H15年3月	H15年下期																		
造成工事	H14年上期～H15年下期	H16年上期～																		
建物等工事	H16年																			
外構工事	H16年																			
開業予定	H17年春見込み	H17年春見込み																		

施 設 名	説 明
④ 新清掃センター	<ul style="list-style-type: none"> ・平成17年完成予定 ・敷地面積 4.7ha ・施行主体 掛川市、菊川町及び小笠町衛生施設組合 (一部事務組合) ・施設規模 ガス化溶解施設 140 t / 日 (70 t / 日 × 2 炉) リサイクルプラザ施設 30 t / 5h ・造成工事(平成14年度～15年度) 7億8,500万円 5月末現在造成工事進捗率 40% ・7月末までに清掃センター用地分の造成を完了する 予定(同時発注している22世紀の丘公園分については 3月完了予定) ・清掃センターのプラント工事については平成15年5 月に契約し、現在実施設計をしており、9月頃建設 工事に入る予定 ・建設事業費 66億8,745万円 ・専門業者の高い技術力、ノウハウが生かせる性能発 注方式を採用
④ 22世紀の丘公園	<ul style="list-style-type: none"> ・面積20.8ha ・「ゆっくり、じっくり、森づくり、みんながあつま る手作りの公園」を基本理念とし、「生涯学習・ス ローライフ」の実践の場として、総合公園の整備を 図る ・隣接して整備される新清掃センターの余熱利用や健 康づくりの施設整備を予定 ・平成14年度清掃センターの残土処理と併せて埋立工 事 ・平成15年度基本設計を行い、平成16年度着工予定
④ 新エコポリス	<ul style="list-style-type: none"> ・第一期完成時期 平成16年3月頃予定 ・分譲面積 約12ha(8区画を予定) ・予定販売単価 8万円代～9万円代/坪 ・東名掛川ICまで約5km、掛川駅まで約4km ・事業主体 (財)掛川開発公社
⑤ エコポリス(東部工業団地)	<ul style="list-style-type: none"> ・立地企業(12社)、敷地面積74.9ha、従業員数1,764 人(平成15年1月現在) ・エコポリスとは、技術系及び工業系のシステムと自 然系及び生態系のシステムの両方が美しく共存した 緑豊かな都市のこと ・安養寺運動公園(4.9ha)にはプール(50m 8コース、 幼児用変形プール、夜間照明あり)、テニスコート(全天候2面、夜間照明あり)、多目的グラウンド(面 積8,972㎡、夜間照明あり)等の施設が整備されている
⑥ ならここの里 (仮称)ならここ温泉	<ul style="list-style-type: none"> ・緑の森と清流に囲まれた、快適なキャンピングエリア ・総面積4.1ha、オートキャンプ100台、バンガロー27 棟、コテージ5棟 ・快適なキャンプを楽しんで頂くために100V電源と シャワー、炊事場等の設備を用意

施 設 名	説 明
	<ul style="list-style-type: none"> ・「キャンプならここ 川あそびならここ 山あそびならここ」 ・温泉施設 9月末開業予定 ・敷地面積 1,800㎡ 建築面積 294㎡(90坪) ・木造平屋建て(一部鉄筋コンクリート造) ・内風呂 2箇所(10㎡/箇所) ・露天風呂 2箇所(20㎡/箇所) ・ホール及び休憩室 136㎡(42坪) ・全体事業費 2億4,600万円 ・泉温 41.0℃ 湧出量 56ℓ/分 ・泉質 ナトリウム-塩化物温泉
⑦第二東名高速道路	<ul style="list-style-type: none"> ・設計速度 140km/hで走行可能 ・車線数 6車線 ・(仮称)掛川PA及び(仮称)森掛川ICの設置 ・掛川工事区は、第二東名高速道路のうち掛川市内11.9km含む延長12.6km(土工延長5.6km、トンネル5.3km、橋梁1.7km) ・当工事区内には、第二東名で1番長い金谷トンネル(4.6km)や、高架橋(PC箱桁橋)として第二東名で2番目に長い宮ヶ島高架橋などトンネル4本、橋梁5橋、休憩施設1箇所の建設が計画されており、非常にバラエティーに富んだ工事区となっている ・工事区間全体進捗率 61.7%(5月末現在)
⑦(仮称)天の橋原公園	<ul style="list-style-type: none"> ・高架下を活かし、豊かなまちづくりのため、公園的に活用する事により、憩いの場、交流の場とすることを目的としている ・延長1.4km 幅員約43m 面積60,740㎡ ・平成14年度に市及び地元協議会でワークショップを開催し高架下公園基本設計策定
⑦加茂花菖蒲園	<ul style="list-style-type: none"> ・加茂家は桃山時代からの庄屋として続く名家 ・花菖蒲園は1万㎡以上に約1,500品種が作られ、花菖蒲の文化、情報の発進基地として、日本国内のみならず、海外にも広く知られている ・花菖蒲園開園期間 4月29日～6月末日
⑧いこいの広場	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の健康増進、1人1スポーツ1健康法の奨励を目的に設置された、総合スポーツ施設 ・野球場 収容人数12,000人(内野7,000人、外野5,000人)、両翼92m、中堅120m ・多目的広場 面積18,500㎡ 野球場2面分の広さを持ち、ソフトボール、サッカー、陸上競技などに使うことができる 夜間照明あり ・テニスコート 全天候型3面、クレー2面 夜間照明あり ・駐車場 450台 ・レストハウス 管理事務所があり、2階には15畳2室、10畳1室の和室がある

施設名	説明
	<ul style="list-style-type: none"> 第58回国民体育大会成年女子ソフトボール競技会場 10月26日(日)～29日(水)
<p>⑧ 県総合教育センター あすなろ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成7年8月開設 学習と教育の中核的存在として新しい時代の人づくりを目指し設置された施設 教職員研修、教育情報、教育相談、生涯学習推進の4つの機能をもつ複合生涯教育施設 敷地面積10万㎡ 教職員150名の宿泊が可能 講堂、研修室、プラネタリウム、体育館、宿泊施設、テニスコート等は一般にも開放されている
<p>○ 掛川市消防署西分署</p>	<ul style="list-style-type: none"> 原谷、原田、原泉、曾我、桜木、和田岡地区(主に市内の北部と西部)を管轄 管轄面積 93.44km²(市面積の50.3%) 管轄人口 23,800人(市人口の29.7% H12国勢調査) 職員数 16人 水槽付きポンプ車1台、水槽車1台、救急車1台
<p>⑨ こどもの森</p>	<ul style="list-style-type: none"> 昭和57年6月開園 面積 20,459㎡ 建設事業費 1億480万円(うち用地費5,500万円) アスレチック12ポイント 芝スキー B & G 体育館と共に(財)掛川市生涯学習事業団へ管理委託
<p>⑨ (仮称)大池公園総合体育館</p>	<ul style="list-style-type: none"> 東遠定住圏域(1市7町ー掛川市、大須賀町、大東町、浜岡町、小笠町、菊川町、相良町、御前崎町)22万人のスポーツ振興及び健康・福祉・地域コミュニティの増進を願い計画された施設 10月供用開始予定 メインアリーナ(バレーボール4面)、温水プール(25m)、武道場、弓道場、トレーニング室 <カルチャーパーク> 都市計画面積 14.1ha 供用開始済み面積 3.72ha (多目的広場、駐車場、修景施設、植栽等体育館より南側部分) 供用開始済み部分及び体育館を除く北側未供用部分の整備は昨年度までで事業費16億2千万円 (未供用施設は修景施設、植栽、四阿、湿地木橋等) 体育館を含む道路より北側部分のうち5.5haを今年度供用開始予定
<p>⑩ 生涯学習センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市民会館の両機能を有した多目的複合施設で、市内20箇所の地域生涯学習センターの総本山として生涯学習を推進するための拠点施設 昭和58年4月開館 総事業費 23億5千5百万円 平成12年4月～6月まで老朽化した施設全体を改修工事 事業費 3億5千万円

施設名	説明
	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地面積 17,931㎡ 駐車場約300台 ・ホールは1,081席(固定657席、移動424席)の収容能力を持ち、客席後部にあるスライディングウォールを用いて657席の小ホール状態と1,081席の大ホール状態に使い分ける事が可能 ・4つの会議室、和室、料理室、工作室等 ・多目的催し物広場は、まり場コミュニティーとして、円形のガラスドームで覆われ、明るく人工芝がしきつめられ、各種催物などが開催可能 ・(財)掛川市生涯学習事業団に管理委託
<p>⑩ 徳育保健センター 三師会館</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・徳育とは食事(食事の教育)と撫育(愛撫する教育)を指し、人間の2大本能である食事と愛撫の2つの行為を限りなく優しく、限りなく美しく、限りなく心を込めてできる人を育てること ・三師(医師会、歯科医師会、薬剤師会)と協同して会館をつくり、活動を共にしている ・施設内には社会福祉協議会や訪問看護ステーションの事務所もある ・隣接する三師会館には三師の事務所と医療センターが置かれている ・中庭には裸足で歩くことでツボを刺激できる「おにわふみいし」健康遊歩道が設けられている
<p>⑩ 掛川市消防署</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・西分署管轄区域を除く市内全域と東名高速道路を管轄 ・管轄面積 92.35km²(市面積の49.7%) ・管轄人口 56,417人(市人口の70.3% H12国勢調査) ・職員数 53人(うち消防本部11人) ・化学車1台、水槽付きポンプ車1台、水槽車1台、救助工作車、救急車2台
<p>⑪ 掛川城天守閣 掛川城御殿</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成6年4月復元 ・全国初の本格的な木造(青森ヒバ)づくり ・建築費の多くが市民の募金(約10億円)で賄われた ・御殿は現存する城郭御殿としては京都・二条城に次ぐ貴重な建造物で昭和55年国の重要文化財に指定された
<p>⑪ 中央図書館</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成13年6月開館 蔵書(一般図書) およそ20万冊 ・建設工事費 17億8,400万円 ・敷地面積 6,600㎡ ・鉄筋コンクリート造一部木造 地上1階地下1階 ・オレゴン州ユージン市(姉妹都市)より輸入の構造用集成材使用
<p>○ 大日本報徳社</p>	<p><大日本報徳社></p> <ul style="list-style-type: none"> ・報徳は、二宮尊徳(1787～1856)通称二宮金次郎の教えであり、この報徳を実践する組織が報徳社である また、全国各地にある報徳社を統括するのが、大日本報徳社である

施設名	説明
	<ul style="list-style-type: none"> ・報徳の思想を形成する三つの柱は、「勤労」「分度」「推譲」という言葉であらわされる ・「勤労」は大きな目標に向かって行動を起こすとしても、小さいことから怠らず、つつましく勤めなければならないということ ・「分度」とは適量・適度のこと 家計でも仕事でも、現状の自分にとってどう生き、どう行ふべきかを、知ることが大切だということ ・「推譲」とは、肉親・知己・郷土・国のため、あらゆる方面において、譲る心を持つべきであるという考え 分度をわきまえ、少しでも他者に譲れば、周囲も自分も豊かになるものだという教え <p><大日本報徳社正門></p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳門、経済門と刻まれている正門左右の門柱は明治42年の建立 ・道徳と経済の調和した社会づくりをめざす、道徳の教えを象徴している ・掛川市指定文化財 <p><大講堂></p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治36年に建てられた大日本報徳社の中心のかつ象徴的な建造物 ・我が国屈指の大規模近代和風建築として知られる ・静岡県指定文化財 <p><報徳図書館></p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和2年に建設された鉄筋コンクリート造の建物で民間図書館として県内で最も古いもの ・建築面積96.6㎡、延床面積179.4㎡ ・平成12年、13年度に事業費1億円で修復工事を行い、中央図書館と同時にリニューアルオープンした ・昭和27年から44年までの間には、町立図書館、市立図書館として市民にも広く親しまれるとともに、貴重な教育文化施設としての役割を担ってきた ・平成7年12月市の文化財に指定
⑪二の丸美術館	<ul style="list-style-type: none"> ・平成10年開館 ・横山大観や東山魁夷など近代日本画を集めた「鈴木コレクション」、印籠、きせるなど、江戸期の職人技を伝える「木下コレクション」等幅広く展示している ・これらの多くは文化振興のために寄贈されたものであり、掛川の歴史と文化に対する理解を深める施設
⑪二の丸茶室	<ul style="list-style-type: none"> ・平成14年3月竣工 ・総事業費1億8,450万円 ・建築費の財源は(財)日本宝くじ協会からの助成金 ・お茶の効能の啓発や文化継承に「茶道」のもつ高い文化性を生かすことを目的とする施設

施設名	説明																							
⑫東名掛川IC	<ul style="list-style-type: none"> 平成5年12月開設 全国502番目にしてはじめて料金ゲートのデザインを変えたインターチェンジ 公共施設はまちの特色・名物・思想を表すべきという市の考え方に基づき、料金所の色を注意・抑止の赤から安全・快適の緑へ変更するとともに、城下町風まちづくりのエッセンスを各種施設に反映している 将来インターチェンジの敷地が、美しい森となるよう、照葉樹を主体に50種類2万本を植樹 																							
⑫掛川市立総合病院	<ul style="list-style-type: none"> 昭和34年設立、昭和59年改築 病床数 450床 透析センター 31床 建築面積 12,287㎡ / 延床面積 28,790㎡ 駐車場 1,458台 職員数 536人(うち医師56人、看護師309人) 入院患者数(H14) 142,570人 外来患者数(H14) 295,576人(1日平均1,207人) 健診センター「健康安心サロン」併設 病院のキャッチフレーズは「愛365日」、健康な人でも行きたくなるような、心温まる病院を目指す、最先端の医療設備と技術を備えた総合病院 掛川・小笠1市5町の広域診療圏(18万人)の基幹病院として位置づけられており、高度特殊医療、救急医療を重点目標に整備拡充を図り、病診連携を深め、掛川・小笠全域の住民の信頼を得ている 																							
○掛川高瀬線	<ul style="list-style-type: none"> 延長 4,825m 幅員 7.0m 受益面積283ha(田56ha、畑5ha、樹園地222ha) 施行主体 静岡県 負担割合 国：45% 県：27.5% 市町：27.5% 施行区域を3区間に分割し、工事の進捗をはかる <table border="1" data-bbox="481 1395 1402 1677"> <thead> <tr> <th></th> <th>延長(m)</th> <th>事業期間</th> <th>事業費(千円)</th> <th>進捗率(H14末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1期地区</td> <td>1,200</td> <td>S63～H10</td> <td>578,600</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>2期地区</td> <td>1,400</td> <td>H4～H15</td> <td>824,000</td> <td>88.8%</td> </tr> <tr> <td>3期地区</td> <td>2,225</td> <td>H12～H16</td> <td>1,482,000</td> <td>30.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業期間は現在の計画事業年度</p>					延長(m)	事業期間	事業費(千円)	進捗率(H14末)	1期地区	1,200	S63～H10	578,600	100.0%	2期地区	1,400	H4～H15	824,000	88.8%	3期地区	2,225	H12～H16	1,482,000	30.9%
	延長(m)	事業期間	事業費(千円)	進捗率(H14末)																				
1期地区	1,200	S63～H10	578,600	100.0%																				
2期地区	1,400	H4～H15	824,000	88.8%																				
3期地区	2,225	H12～H16	1,482,000	30.9%																				
○(仮称)花鳥園	<ul style="list-style-type: none"> 平成15年8月開園予定 世界の花と鳥と自然をテーマとし、特に「花と鳥と人とのふれあい」を基本コンセプトとして、「花と鳥の別天地」を創造する 園内の開発率を50%程度に抑え、自然(背後の鬱蒼たる山林)を最大限活かし、その中に世界最大規模の全天候型巨大温室を配置予定 																							

施 設 名	説 明
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総面積 102,530㎡、温室 7,162㎡、駐車場 7,653㎡ (211台)、池 16,933㎡ ・ 温室内では球根ベゴニアを中心としてフクシア、ブルグマンシア、日本桜草、伊勢ナデシコなどを育成展示予定 ・ 鳥に関してはインコ、オウム、オオハシ、フクロウ、サイチョウ等々を中心に熱帯性、寒帯性の種々の鳥を約200種類1,500羽展示予定 ・ 経営者は加茂花菖蒲園園主加茂元照氏
○ 県道磐田掛川線	<ul style="list-style-type: none"> ・ 磐田市二之宮を起点に掛川市上張に至る道路で、延長が約17.0km ・ 施行主体 静岡県 ・ 事業費 230億1,500万円（掛川市分のみ、小笠山運動公園線を含む）うち掛川市負担金 8億3,000万円 ・ 2002年に開催されたFIFAワールドカップ及び今年開催される静岡国体（NEWわかふじ国体）の会場である小笠山運動公園「エコパ」へのアクセス道路として位置づけられ整備が行われた ・ 関連する農道及び市道とともに掛川市南部の東西交通の幹線道路として活力ある地域の形成に重要な役割を担っている ・ 道路の整備にあたっては、小笠山が貴重な植生が分布するほか、多くの動物が生息している場になっていることから様々なことに配慮（道路横断施設(けものみち)の設置・付け替え水路は多自然型川づくり工法を採用・水路に緩傾斜空間(スロープ)の設置等)

大東町

施設名	説明
○(主)掛川・大東線	<ul style="list-style-type: none"> ・(一)掛川・大東・大須賀線と(一)中方・千浜線とあわせ通勤、通学の幹線道路 ・工業原材料、製品輸送の産業道路や防災対策としての幹線道路整備 ・交通量 15,000台/日
○農業(茶)	<ul style="list-style-type: none"> ・茶園面積 230ha ・生産量 700t(荒茶) ・販売金額 11億5千万円 ・JA遠州夢咲3直営工場 210ha ・法人 20ha ・乗用機械利用組合 1組合 25ha
①東京女子医科大学	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土の偉人、吉岡彌生が創立した東京女子医科大学が平成10年4月に4年生の看護学部を開学 ・第6期生80名(1年生)が大東キャンパスで学習、4年生が長期実習
①吉岡彌生記念館	<ul style="list-style-type: none"> ・吉岡彌生は東京女子医科大学の創設者として、我が国の近代医学史に大きな足跡を残した大東町出身の女医です ・平成10年11月開館 生家に程近い下土方の丘腹に建設された ・至誠一貫を座右の銘とした吉岡彌生の人生を学ぶことができる「吉岡彌生記念展示ゾーン」と医学・看護の情報拠点である「看護とケアの展示ゾーン」及びレクチャールーム等の施設がある ・記念事業として、大学の教授を招いての公開講座、特別展や健康セミナーを定期的開催 ・平成14年度入館者 4,530人
②上土方工業団地	<ul style="list-style-type: none"> ・大東町の中西部・小笠山山麓の裾野にある丘陵地に位置し、工場立地においては用水(上水道)排水・電力・道路など工業団地には不可欠な整備条件を整えているインダストリアルパーク ・開発面積 40.5ha 分譲総面積 32.0ha ・東名掛川ICまで8.0km、東名菊川ICまで10.0km、東海道新幹線掛川駅まで10.0km ・分譲面積 69,016㎡ ・分譲価格 19,000円/㎡ ・現在1社操業 2企業と契約 ・優遇制度 国庫補助金、交付金、県補助金 ・経済低迷による企業の進出条件が厳しくなり、交通アクセス等の整備必要
②高天神城跡	<ul style="list-style-type: none"> ・国指定史跡高天神城は標高132mの鶴翁山を中心に、放射状にのびるいくつかの尾根を巧みに使った山城 ・築城の一つの理由は小笠山山塊の東南にのびた尾根の末端部が見晴らしが良いこと

施 設 名	説 明
	<ul style="list-style-type: none"> ・また、尾根がやつでの葉のように入り組んで、谷が入り込む複雑な地形は防御を主体とする山城の大事な築城条件であった ・高天神城は「高天神を制するものは遠州を制する」といわれ、戦国時代に徳川・武田の両雄が浮沈を掛けて戦った一大決戦場として有名 ・山上にある高天神社は菅原道真など三体の神が祀られている霊験あらたかな神社 ・平成8～23年にかけて「史跡高天神城跡整備事業」を実施
③特別養護老人ホーム 大東苑	<ul style="list-style-type: none"> ・平成7年4月開設 ・定員 大東苑50名、ショートステイ14名、デイサービス30名 ・特別養護老人ホーム→高齢により常に介護を必要としながら、勤めなどの事情で家庭において介護を受けることのできないお年寄りが安心して楽しく快適な生活を送るための施設 ・デイサービス→おおむね65歳以上の方で体に障害のある方、痴呆の方など、日常生活を営むのに支障のある方を対象に送り迎えをしながら日帰りで、入浴などの各種サービスを行う施設
④大東文化会館シオーネ	<ul style="list-style-type: none"> ・平成10年10月開館 ・敷地面積 50,295㎡、延床面積 5,175㎡ ・駐車場 240台 ・大ホール収容人員652席 (車椅子席4席、母子室2室6席) ワイドなスペースと最新の音響施設を備えたシオーネの中心施設 ・小ホール 収容人数200名可動舞台を備えた最新の設備 ・大会議室(定員100名)、小会議室(定員14名)、団体交流室(定員20名)、和室(24畳)、展示ロビー、野外ステージ(収容人員600名、ステージ133㎡) ・平成14年度月平均稼働率 大ホール 64.0% 全体 95.9% ・場所がわかりにくく、交通アクセスが悪い、周辺に飲食店がないが課題 ・優れていることは、音響の良さ、利用料金が割安、広い駐車場
⑤大東町役場	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和63年9月竣工 ・敷地面積 23,901㎡ ・建築面積 本館 5,258㎡(RC地上6階地下1階) 別館 1,558㎡(RC一部SB地上3階) ・敷地内に、日本一健康なまちを目指すための保健福祉センターと町民一人一スポーツの拠点施設である町民体育館を併設

施 設 名	説 明
○風力発電	<ul style="list-style-type: none"> ・ 風力エネルギーを電気エネルギーに変換して利用するもので、石油代替として、また地球環境に優しいエネルギー源として期待されています ・ 大東温泉シートピアに電力供給、余剰分は売電 ・ 発電開始風速 2.5m / s ・ 定格出力 230 k w ・ タワー高さ 36.6m ・ 翼回転直径 30.0m ・ 年間発生電力量 31万 k w (一般家庭 約80世帯分)
⑥潮騒橋	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成7年8月開通 ・ 一級河川菊川河口に架かる浜松－御前崎自転車・歩行者専用の橋 ・ 国内最大の吊床版橋(橋長232m、幅3m) ・ 橋の上からは、遠州灘が一望でき、太平洋に沈む夕日の美しさは格別
○終末処理場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成6年11月に全町下水道化構想を策定 公共下水道 1 処理区 471ha 農業集落排水 3 処理区及び海戸地区 ・ 計画人口 13,600人 ・ 汚水日平均 6,230m³ ・ 供用開始 平成13年4月 ・ 敷地面積 2.2ha
⑦環境保全センター 一般廃棄物最終処分場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境保全センター 平成7年3月竣工 ・ 一般廃棄物最終処分場 平成9年3月竣工 ・ 大東町大須賀町衛生施設組合(一部事務組合)により運営 ・ 環境保全センターはごみ処理施設と粗大ごみ処理施設からなり、ごみ処理施設は2つの焼却炉を8時間使って、1日に35トンのごみ処理が可能、粗大ごみ処理施設は、5時間に8トンの粗大ごみと不燃ごみを処理することが可能 ・ 一般廃棄物処分場は埋立容量が33,000m³で廃棄物と覆土とをサンドイッチ方式にて埋立し、自然界の代謝機能を利用して安定化・無害化を図る ・ 焼却量が年々増加傾向のため、平成12年度から分別収集の徹底を図り、資源の再利用に努める ・ ごみ処理量 6,801t / 年(平成12) 5,937t / 年(平成13) 6,090t / 年(平成14) ・ 一般廃棄物最終処分場埋立量 11,798m³

大須賀町

施設名	説明
① サンサンファーム	<ul style="list-style-type: none"> ・平成5年落成 ・建物面積 399㎡ 鉄骨造平屋建て ・来客数166,804人 (h13.10～h14.9レジ通過客) ・地域活性化を図るため観光農業と農産物・地場産品の販売や観光PRの拠点として整備された。 ・施設を町が設置し、(有)サンサンファームが運営 ・季節に応じ周辺のハウスでメロン狩り、いちご摘み、トマト摘みが楽しめる ・施設内では地場産品が販売されるが、特に江戸時代からの伝統を持ち、製造直売している白下糖が人気 ・併設の愛菜市では、地場野菜が安価に販売され、人気を呼んでいる、年間販売額約7千万円
② 特養おおすか苑 福祉ゾーン	<p>福祉ゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成8年度に策定された「福祉ゾーン整備構想基本計画」に基づき整備が進められている ・特別養護老人ホーム、在宅介護支援センター、デイサービスセンター、老人保健施設、知的障害者通所更正施設、健康・福祉・交流センター、広場により構成され、健康・福祉・交流センターを除いては建設済もしくは建設中 <p>特別養護老人ホームおおすか苑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成4年開苑 ・事業者 大須賀社会福祉事業会 ・敷地面積 4,705.00㎡ 建築面積2,585.13㎡ 鉄筋コンクリート造2階建 (増築中 延べ床面積 1,480.86㎡ 鉄筋コンクリート造平屋建 本年 9月完成予定) ・特別養護老人ホーム 定員50名+30名(増築中) ・ショートステイ 定員20名 ・デイサービス 1日 B型35名 E型20名 ・平成14年4月現在の待機者数178人 ・増築中の施設はグループ制のユニットケアに対応し県内では初の全室個室の居住福祉型施設 <p>在宅介護支援センター・デイサービスセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成11年開苑(おおすか苑に併設) ・敷地面積 2,667㎡ 延べ床面積 875.04㎡ 鉄筋コンクリート造平屋建 ・おおすか苑の機能の拡充を目的に設置され、在宅虚弱老人の入浴、食事、リハビリ等の各種サービスを行う <p>老人保健施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院治療は必要ないが要介護の老人の家庭復帰支援 ・平成16年4月開所予定 ・敷地面積 3,198㎡ 延床面積 4,268.92㎡ 3階建 ・事業者 医療法人 あおば会 ・ベッド数 100床 通所リハビリ 40名 <p>知的障害者通所更正施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者 社会福祉法人 草笛の会

施設名	説明
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ウェルくさぶえ（日中活動支援センター） 平成14年12月開所 定員20名 ・ スキップ（知的障害者デイサービスセンター） 平成15年4月開所 1日利用者5名以上 保育所 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成17年4月開園予定 ・ 敷地面積 4,774㎡ 延床面積 2,180.62㎡ ・ 鉄筋コンクリート2階建 定員140人 ・ 事業者 大須賀社会福祉事業会 ・ 幼保一元化の検討も進めている
③ コーニングジャパン(株)静岡工場 （農村工業導入地区 岡原団地）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昭和49年度に変更策定された農村地域工業等導入実施計画のに基づき整備、平成13年度の計画変更で団地面積を拡張 ・ 団地面積 120,101㎡ ・ コーニングジャパン(株)（液晶ガラス基盤製造）が操業中 ・ 液晶の需要の増大に伴い、急激に工場施設の拡張を行い、従業者数は701人 ・ (株)スズキとともに町の代表的な企業となっている ・ コーニング研究所が敷地内に併設されており、製造プロセスの向上やアジア太平洋地域の技術支援などを行っている
○ 農村環境改善センター「アイク」 民俗資料館	農村環境改善センター「アイク」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成5年落成 ・ 延べ床面積1089.94㎡、鉄骨造平屋建 ・ アメニティホール（618.64㎡）、会議室（56.7㎡）、和室（66.79㎡）、調理・加工室（73.71㎡）を有する多目的機能施設 民俗資料館 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成4年落成 ・ 延べ床面積 543.92㎡（うち展示室333.73㎡） ・ 大須賀町に残る歴史資料の中でも、生活、農業、産業などの民俗的なものを集めて展示している
○ 農村地域工業導入地区 大淵沖之須団地	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成4年度に変更策定（当初昭和49年）された農村地域工業等導入実施計画に基づき整備、直近における計画変更は平成13年度 ・ 団地面積 238,232㎡ ・ 東大谷川左岸は完売済、右岸を道路基盤整備中 ・ 美幸工業(株)（金属精錬）が1社が操業中、本年度グループ企業が左岸の残地を造成予定
○ 勤労者体育センター、B & G 海洋センター	大須賀勤労者体育センター <ul style="list-style-type: none"> ・ 昭和51年落成 ・ 建築面積 1378.05㎡ 延床面積 1338.12㎡ ・ 鉄骨造 ・ バスケット、バレーボール公式用1面（練習用2面） ・ バドミントン3面、高鉄棒1基、吊り輪1組

施設名	説明
	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化していたが、雇用促進事業団が昨年度補修し、本年度に町が購入予定 B & G 海洋センター ・昭和61年落成 ・上屋付きプール ・アルミ製プール 一般 25m×13m 6コース 幼児用 10m×6m
○大須賀浄化センター	<ul style="list-style-type: none"> ・平成17年度供用開始予定 ・全体事業費 約60億円 ・処理面積 409ha ・処理人口 13,600人 ・水処理 オキシデーションディッチ法（一般的な処理方法） ・汚泥処理 オゾン法（処理槽で沈殿した余剰汚泥を引き抜いてオゾンで処理し、再度処理槽に戻すことで余剰汚泥をほとんど外部に出さないことが可能となる方式、全国で2例目） ・センターでは海岸部に吹く風を利用し、風力発電を行って、センター運用にかかる電力をまかなうこととなっており、終末処理場と風力発電の組み合わせは国土交通省補助事業としては全国初
○弁財天海浜公園アスレチックコース	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和63年度落成 ・総事業費 7,500万円 ・21基の木製遊具と展望台、コース全長650m ・公園内にはトイレや休息施設も整備されている ・全体的に施設が老朽化してきていることが課題
○ロックタウンおおすか	<ul style="list-style-type: none"> ・平成11年度開業 ・敷地面積 83,385㎡ 延べ床面積 28,355㎡ ・平成8年度に策定された農村活性化土地利用構想により新商業集積ゾーンとして位置づけられたエリアにイオングループのロック開発(株)が大規模商業施設を立地した ・周辺市町村に大型商業施設の立地が進み、地元購買率の低下が進んでいたことや景気の低迷に伴う雇用情勢の悪化に対応するため町が立地支援を行った。 ・食料品販売店舗内では、地元農産物のコーナーも設けられ、地産地消や地元農産物のPRに貢献している ・同施設の出店以来、近隣の宅地化と商業施設の出店が進んでいる
④横須賀城跡	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和56年国指定文化財 ・指定面積 168,419.64㎡ 石高2万5千～5万5千 ・天正6年（1578年）高天神城攻略のため徳川家康の命により大須賀康高が築城、明治維新の廃城まで20代の城主が居城した ・山城から平城に移る中間期の平山城

施 設 名	説 明
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昭和60年「復元と環境整備のための基本計画」が町で策定され、城跡の保存のために土地及び構築物の規制をAからC地区に区分して行っている ・ A地区を中心に公有化整備が進められており、44,821㎡が買い上げ済み、整備済面積は18,000㎡ ・ 史跡公園としての整備も進められ、北側の梅園には多くの人を訪れる ・ 春先には茶会が開かれるなど、イベント会場としても利用されている ・ 西暦2000年を記念し、約90本の桜が植えられた、将来的には桜の名所となることが期待される ・ 未だ城の図面が見つからないことから、現時点においては復元の目途は立っていない ・ 計画区域内では(株)FDKが操業していたが、工場の撤退により残地の利用が課題となっている
⑤ 清水邸庭園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成4年開園 ・ 庭園面積2,869㎡ 建築面積 154.82㎡ ・ 江戸時代回船業を営み、藩の御用達を勤めた清水家の庭園を整備し、数寄屋づくりの「湧水邸」を設置 ・ 回遊式の庭園は江戸時代中期の造り ・ 湧水を生かした庭園として、平成3年水辺100選に選ばれた ・ 管理は清水邸庭園運営委員会により行われ、四季折々に茶会を中心としたイベントが開催される
⑥ 三熊野神社と街並み	<p>三熊野神社と大祭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大宝元年（701年）鎮座 ・ 現神社拝殿は平成13年に建て替えられた ・ 文武天皇の皇后が皇子を出産されたことに伴い小笠神社、高松神社とともに熊野三社の御分霊としてまつられたのが起こり ・ 本殿と絵馬が県文化財に指定されている ・ 4月の大祭が有名で全国各地から見物客が訪れる ・ 大祭では県指定無形文化財第1号の三社祭礼囃子の調子によって13台の祢里が街中を曳き廻される ・ 神事としては、地固め舞と田遊びが県指定文化財になっているほか、子授けの神事としての神子抱きが有名 ・ 神田祭の流れをくみ、神田との交流が深いが、ほかにも祭文化を通じて全国各地との交流が行われている <p>街並み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の基本的な町並みは、横須賀城2代目城主が城下町を作るために、民衆に奥行き16間、間口自由の土地と竹材を与えたことに始まる ・ 城下町といったことから、道路はT字路、小路が戦略的に配置された ・ 町内では御熊野神社を中心とした地区に歴史的な面影を残す住宅が散在している

施 設 名	説 明
	<ul style="list-style-type: none"> このような地域の特性を踏まえた質の高い居住空間の整備を行うため、平成4年度に大須賀町地域住宅計画が策定されている
⑦大須賀町役場	<ul style="list-style-type: none"> 昭和42年落成 敷地面積 本庁舎建築延べ面積 3,000㎡ 鉄筋コンクリート造3階建 敷地内に南館（防災センター：防災、環境担当課）、東館（保健センター：2階に建設、水道担当課）、中央公民館（教育委員会）、老人福祉センター・児童館、図書館が配置されている 本館、東館については耐震性がないため、想定される東海地震に対する対応が課題となっている
○釜ヶ谷土地区画整理事業「洋望台」	<ul style="list-style-type: none"> 平成15年分譲開始 地区総面積16.7ha 販売区画数102区画 1区画平均87坪 平均坪単価11万4千円 公園2カ所 用途地域 第1種低層住居専用地域、第2種住居地域 街並みと太平洋を一望でき、役場、小中学校に近いのが特徴 掛川市への道路が改良されることにより、町内では掛川市に最もアクセスの良い住宅地となり、販売の促進が期待される 景気の低迷と地価の下落による販売価格の低下が課題となっている
○県道大須賀掛川停車場線	<ul style="list-style-type: none"> 大須賀町から小笠山を經由して掛川市に通ずる県道 総延長 10,175m 昭和62年県道大須賀掛川停車場線期成同盟会設立（掛川市、袋井市、大東町、大須賀町で組織） 平成9年大須賀町内の一部（493m）を拡幅改良 狭隘な箇所や屈曲した箇所が多く、安全な道路の整備が望まれている
○大須賀中学校	<ul style="list-style-type: none"> 平成14年10月校舎落成（体育館等整備中） 全体事業費 約30億円（用地費等は含まず） 鉄骨鉄筋コンクリート4階建て 延べ床面積5,800㎡ 大きな窓ガラスと木材を多く取り入れた内装が特徴 耐震補強では対応できなかったため建て替えた 平成15年度に体育館、プール、駐輪場完成予定、平成16年度グラウンド完成予定
⑧西大谷ダム公園	<ul style="list-style-type: none"> 昭和63年に主要な公園施設（遊歩道、吊り橋、あずまや、トイレ等）が完成 主要施設の整備費 1,950万円 へらぶな釣りの名所として有名で、へらぶな釣り大会などには県外からも多くの人が訪れる 現在はダム堤体の補強工事中（平成16年度完了予定）

施 設 名	説 明
○ 県道袋井小笠線	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県道大須賀掛川停車場線から県道袋井小笠線、県道掛川大東大須賀線、掛川大東線を經由して掛川市街に至ることができる ・ 県道掛川大東大須賀線に至るまでの区間は特に狭隘で屈曲しており安全な道路の整備が望まれている